

公表: 令和5年4月10日

事業所名 生活クラブあのおのねのお保護者等数(児童数) 30(31)名 回収数 25名 割合 83.3%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	24	1			・一日に何人登所しているかわからないのでどちらともいえない	1日の登所人数は5~12人で平均1日当たり8.4人前後で推移しています。(東京都相談資料より)
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	16	6	1	2	未記入2 ・配置数がわからないため ・どの方がどんな専門職なのかとわかりません。 ・児童発達支援管理責任者が不在となっている期間があること自体がおかしいのではないか? 今回で2度目です。 ・入れ替わりが多いようすが	・常勤職員3名、その他非常勤職員を1日2~3名配置し、職種としては児童指導員3名、保育士2名、機能訓練士(OT,ST)2名、看護師1名、指導員1名。(強度行動障がい支援者4名を含む)となっております。今後自己紹介を兼ねて皆様にお知らせしてまいります。 ・児童発達支援管理責任者の不在については大変ご迷惑をおかけして申し訳ございません。今後このようなことがないように、東京都と相談の上、人選に配慮した配置を進めていく所存です。 ・現在の職員は開所当初から努めている5年目の職員が6名、3年目1名、2年目1名、1年目1名で支援を行っております。尚その他2年目の職員1名が2022年度児童発達支援(重症児デイ)に配置換え勤務となっております。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	19	4		2	未記入2	・建物は元々高齢者デイサービスとして建設されており、全てバリアフリー化されています。 ・お子様の閉じこもり防止のためエレベーターは日常的には停止し、階段を使用いただいています。 ・縄跳びやサーキットなどの運動プログラムの時に膝やかかとを間接的に保護したり、下肢に課題のお子様の転倒時のリスクを軽減するために、支援室の床一面に防災クッションマットを敷き詰めたことで、安心して運動プログラムにも参加していただけるようになりました。
	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	24	1			・サービス計画は画一的な印象があります	・今後、新しい児童発達支援管理責任者が就任しましたら、見直しも含め、保護者様のご意見やニーズ把握に努め、調整しつつご納得くださる計画となるよう余裕をもって取り組んでまいります。

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
適切な支援の提供	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	22	3			<p>・毎月の駄菓子屋さんを他イベントにする工夫が欲しい(連続してしまう)</p>	<p>・週1回利用のお子様も多いため、誰もが同じ経験ができるように1週間連続のイベントとして開催しております。</p> <p>・お買い物体験は年1～2回開催してきました。中には自分で選んだものしか食べないお子様もいる中で始めた「お買い物体験」として駄菓子屋さんに行っていました。「予算内で自分で選び、レジに並ぶ、レジの人とのやり取り、支払い、受け取る」これらの一連の流れは習得できたように思いますので、今後はご意見をもとにプログラムを考えてまいります。</p> <p>・平日の放課後は曜日によってお子様の発達や障がいも多様のため、毎月のおやつ作り週間や工作週間、公園遊び週間などもプログラムの工程や場所を変化させながら、室内遊び・外遊びとも同じような体験ができるように工夫しております。</p> <p>・公共施設の使い方やマナーの習得も兼ねて児童館、図書館、体験学習館、作品展、博物館、買い物体験などの社会体験も、興味や成長発達の変化に合わせて開拓しているところです。</p> <p>・個々の運動機能を考慮しながら市内外に車で片道10～20分程度の公園で地域の子どもたちと交流する機会となっています。</p> <p>・夏の水遊び、春や秋の片道1～2時間かけてのピクニック外出企画、秋の栗拾いやさつま芋堀などの収穫体験、お正月遊びや初詣、節分、七夕まつり、ハロウィン、クリスマス等の季節行事も発達や体験を意識したプログラムとなるように工夫しています。</p>
	⑥ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	14	9		<p>・わからない</p> <p>・コロナ禍においては難しい</p> <p>・不明</p> <p>・入所して2年半ですが、1度もないです。</p> <p>・コロナ禍ではなくても仕方がないと思います。</p> <p>・コロナが落ち着いてきたので何かあってもよい気がします。</p>	<p>・今後は日程が合えば児童館祭りなどには参加していきたいと思います。</p> <p>・近くの学童クラブとの交流の機会をお願いしてまいります。</p> <p>・児童館へ出かける場合は集団での利用となるため、込み合わない曜日を選んだり長期休みに利用しています。</p> <p>・障がいのない子どもとかかわる機会としては日々の公園遊びの中で同じ学校や、同じクラスの子どもたちと遊ぶ姿も見られたり、地域の子どもたちと一緒にバスケや鬼ごっこが始まることもあります。</p> <p>・今後も外遊びに出かけ、自然な形で地域の子どもたちとの交流の機会を作っていきたいと考えています。</p>
	⑦ 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	21	4			<p>いつも通りだと思っています。</p>	<p>児度発達支援管理責任者が計画の見直しに合わせて行っておりましたが、今後は疑問等がございましたらいつでもHUGを通じても必要に応じて説明の補足を行ってまいります。</p>
⑧ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	21	4			<p>・送迎の際にその日の様子を教えていただけるので、体調管理に助かっています。</p>	<p>・連絡帳を通じて保護者様から体調や、学校やご家庭での様子を記載してくださるので、施設での様子も関連してご報告するように心がけております。</p> <p>今後はHUGでのやり取りも合わせて状況の相互理解を進むように努めてまいります。</p>	

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	20				<ul style="list-style-type: none"> ・相談にのってくれてはいます。解決までいかないことが多いです。 ・スタッフが入れ替わりが多いので把握できていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご相談の内容によっては、力不足の面もあると思います。相談支援事業所の利用と必要に応じてサービス提供者会議の提案も視野に入れてご提案していきたいと思っています。
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	15	8		<ul style="list-style-type: none"> ・父母会はない ・コロナの影響だと思いが保護者会はなかったと思います ・コロナ禍においては難しい ・コロナによってなかなか集まるイベント等開かれておらず残念です ・入所して2年半ですが、1度もないです。駆動制限もありませんので、そろそろ開催してほしいです。 ・コロナ禍ではなくても仕方がないと思います。 ・今後開催されていくことを期待しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新年度は感染予防に配慮した方法で保護者会を開催してまいります。 ・また、父母の会の活動の希望があれば、積極的に支援してまいります。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	20	5			<ul style="list-style-type: none"> ・迅速な対応をしてくださるので安心して過ごしています。 ・苦情対応がないです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・より迅速に対応できるよう、HUGでいつでもご意見をいただけるようにし、報告・連絡・相談を複数端末からも確認できる体制に改善いたしました。職員間での情報共有を迅速にチェックし、ご対応いたします。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	22	3			<ul style="list-style-type: none"> ・迅速な対応をしてくださるので安心して過ごしています。 ・伝わっていないことがたまにあります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・HUGを導入し、連絡内容の記録を複数の端末からでも確認できるように改善しました。 ・いつでも再確認できることで、職員間の伝達ミスを予防したり、情報共有が早くなりました。 ・HUG導入にあたっては、保護者の皆様方にお手数をおかけするとともにご協力くださいました。この場で感謝申し上げます。 ・放デイ利用者(保護者)専用の電話番号を取得し、直接放課後等デイサービスに繋がり、放デイ職員に直接伝えられるように改善しました。
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	23	1	1		<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページは見たことがないです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・月のお便りを発行し、お子様方の活動写真を掲載したり、行事予定をお知らせしている。お子様方の写真掲載が多くを占めておりますので、一般の方がご覧になるHPでの公開は行っておりません。HUGシステム導入後は、HUG上でのデータ掲載となり、お便り配布に時間差が生じないように改善しました。 ・HUG導入や、放デイ保護者専用の電話番号を取得したことで、連絡しやすくなるように改善を行いました。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	⑭	個人情報に十分注意しているか	24		1		・ちょっと心配になることがあります。	・HUGを導入したことで、電子サインとペーパーレス化を進めてきました。今後さらに、保護者様と直接データのやり取りを拡大し、ペーパー類の誤配を予防します。
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	16	7	2		・私がよくわかってないだけかもしれません。	これまで玄関ホールにファイルして設置しておりましたが、1階の児童発達支援が9月から重心及び医療的ケアが必要なお子様の通所が始まったことで、内容の見直し作業を行ってきました。更新版についてはご自宅で確認していただけるように、HUGでお知らせいたしました。今後の保護者会等でも各マニュアルについての補足説明やご意見をいただき加筆修正を行うことといたします。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	17	7	1		・わからないです。	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練週間を設け、地震後出火を想定し、裏階段を下りて公園まで避難する訓練を行いました。消防署のご協力により、子どもたちも消火訓練を体験できました。 ・職員が地域の避難所になっている第3中学校までの移動体験を行ったり、校長及び副校長先生との顔合わせを行い、障がい児が使用予定の教室等を見せていただきました。合わせて緊急時のAEDの貸し出しの協力依頼を行ったところ、快く引き受けてくださいました。 ・近所でAEDを設置しているホンダ様にご挨拶に伺い、緊急時のAEDの貸し出しの協力依頼を行ったところ、快く引き受けてくださいました。 ・常勤職員は普通救命救急訓練を受けました。非常勤職員の訓練は新年度に行ないます。
	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	19	1		5	<ul style="list-style-type: none"> ・いつも楽しみにしています。 ・学校は嫌がりますが「今日のはあのねだよ」と言うとおとなしく登校してくれるので助かっています ・自ら予定表をチェックして準備をすることが増えました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多くのお子様楽しく通所してくだっていること、大変うれしく感じております。曜日によって通所してくるお子様の成長・発達の状況が違っていたり、職員も曜日によって変わりますのでプログラムの内容や進め方も工夫しています。通所日数の多いお子様にとってはそのような変化にストレスを感じる場合もあるかもしれませんが、お子様方は今日の出席者をチェックしながら「今日はいないの？」など欠席者を心配するなど「あのねのお家の仲間」としての意識がしっかりと育ってきています。一緒に遊びに加われなくても同じ場所を共有することや、集団活動で移動を共にしながら、仲間意識が育ってきているものと感じます。「仲間づくり」は孤立しないで生きていくために一生を通じて必要なスキルです。日々の仲間の発する喜怒哀楽を受容しつつ、他者理解・自己理解の経験を繰り返しながら、成長していつてほしいと願っていつつ、今後も楽しい時間を共有できるよう努力してまいります。

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
満足度	⑩ 事業所の支援に満足しているか	20			5	<p>・子どもの言動に対して、女性スタッフは肯定的・ポジティブに捉えて対応してくれることが多いが、男性スタッフは否定的ネガティブに捉えることが多いように感じる</p> <p>・素の自分を出しているようですので落ち着いて活動させていただいています。</p> <p>・概ね満足しています。</p> <p>・ファミリー向けのイベントをぜひ復活させて欲しいです。当事者は参加できても家族イベントはどこのデイもないので。</p>	<p>・ご意見を踏まえ、支援スキルについては個々のお子様の日々の変化をしっかりとらえた支援となるように研鑽し、努めてまいります。お子様方の言動に現れる表現はSOSととらえていくことが基本と考えます。子どもたちの悩みはその日その場で解決できることばかりではありません。時間がかかることもしばしばです。危険な行為を除いては職員自身が冷静に待つ姿勢をもって支援にあたるよう、多方面からの観察の力を養ってまいります。</p> <p>・ご家族・きょうだい支援として、コロナ感染症の発生以前には夏に当法人が運営するあきる野市のキャンプ場の生活クラブ共同村陽だまりファームに希望されるご家族に集合していただき、流しそうめんやスイカ割、バーベキュー、川遊びなどを職員も家族を連れて一緒に楽しみました。今後は家族イベントも少しずつ再開できるよう、身近なところから検討してまいります。</p> <p>・あのねのお家の運営に日頃よりご協力をいただいているご家族様とお子様にとって大事な居場所と認めていただけるように職員一同スキルアップに向けて日々研鑽に努めてまいります。</p>

★⑩⑪の満足度については用紙の裏面になっていたため、未記入となったものと考えております。次年度からはより分かりやすくお伝えするように工夫改善いたします。

◎ この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け放課後等サービス評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。